

平成30年度学校評価集計結果並びに考察

山武市立山武西小学校長

平成31年1月に学校の教育活動について、児童・保護者・職員 みなさんに評価をいただきました。その集計がまとまりましたのでお知らせします。

今までの取り組みで十分なところと、改善が必要なところが分かりとても参考になりました。今後の学校運営に活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

1. めざす児童像「心豊かで なかよくする子」

【質問項目】

児 童 ・あいさつをがんばり友だちとなかよくしています。
保護者 ・学校は、あいさつができ、なかよく生活する子の育成に取り組んでいる。
職 員 ・あいさつができ、なかよくする子の育成に努めている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	70.4	56.1	36.4
まあまあできている	26.8	33.3	63.6
あまりできていない	2.8	9.1	0.0
できていない	0.0	1.5	0.0

めざす児童像の「心の育成」についての評価である。児童からの肯定的な意見（十分できている・まあまあできている）は、97.2%であり、児童の努力がよく表れている。職員は、全員が肯定的な評価をしている。保護者については、89.4%の肯定的な評価をいただいたものの、10.6%の方が否定的な回答をしており、児童や職員との開きが生じた。友だちと仲良く生活することは、社会生活を営む上でとても大切なことである。今後は、いつでもどこでも誰にでも挨拶ができるよう、継続的な指導をしていきたい。

2. めざす児童像「よく考え よく学ぶ子」

【質問項目】

児 童 ・勉強を一生懸命にがんばっています。
保護者 ・学校は、読み・書き・計算など子どもの学力の向上に取り組んでいる。
職 員 ・読み・書き・計算・思考力など子どもの学力向上に努めている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	57.7	45.4	36.4
まあまあできている	38.0	45.5	54.5
あまりできていない	4.2	12.1	9.1
できていない	0.0	1.5	0.0

めざす児童像の「学力向上」についての評価である。学力がついているかどうかという一番の根幹をなす所である。肯定的な意見は、児童95.7%、保護者90.9%であった。授業では、児童は集中して取り組んでおり、積極的に取り組んでいる様子が見られる。保護者は、4.2%が学力向上の取り組みに対して、否定的な評価をしている。その内容として教師の教え方や児童の家庭学習の出し方などの理由が考えられる。今後もわかりやすい授業のため、より一層の職員研修を行っていききたい。また、児童が学習に対する意欲を高め、進んで学習に参加し、学力が着実に身に付けられるような取り組みをしていきたい。

3. めざす児童像「たくましく 元気な子」

【質問項目】

児 童 ・進んで運動して体を強くしています。

保護者 ・学校は、健康を維持し、体力のある子の育成に取り組んでいる。

職 員 ・健康を維持し、体力のある子の育成に努めている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	57.7	69.7	36.4
まあまあできている	29.6	27.3	63.6
あまりできていない	12.7	1.5	0.0
できていない	0.0	1.5	0.0

めざす児童像の「健康・体力づくり」についての評価である。児童は、87.3%が肯定的な評価をしていた。否定的な回答をしている児童について、運動の必要性や楽しさを感じさせ、目的意識を持たせる指導の必要性を感じる。本校は、児童数は少ないが、各運動面においてよい成績をあげている。このことが、学校の誇りや自分への自信になり、学習面での粘り強さにも影響を与えている。一つのことに熱心に取り組むことが他の成長にもつながっていることをよく理解させ、楽しく運動に取り組めるようにしていきたい。保護者については、97.0%（昨年度93.2%）の保護者が肯定的な評価をしていた。今後、本校の特徴の一つである「健康・体力づくり」に関する取組に力を入れていきたい。

4. 「楽しい学校」について

【質問項目】

児 童 ・学校では、友だちと楽しく過ごしています。

保護者 ・子どもは、楽しく登校していると思う。

職 員 ・子どもは楽しく登校している。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	81.7	62.1	27.3
まあまあできている	12.7	27.3	63.6
あまりできていない	4.2	7.6	9.1
できていない	1.4	3.0	0.0

94.4%の児童が肯定的な回答をしており、ほとんどの子どもが楽しく登校できている状況がうかがえる。保護者については、肯定的な評価が89.4%で児童の評価を下回る結果となった。児童が楽しく学校に通えていないと感じる保護者の不安感が解消できるよう、学校での様子を伝えるとともに、不安が小さいうちに気軽に相談できる学校となるよう、相談窓口の周知と、迅速な対応に力を入れ、児童一人一人が「希望の登校・満足の下校」となるように努めたい。

5. 「いじめのない学校づくり」について

【質問項目】①

児 童 ・友だちをいじめていません。

保護者 ・学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

職 員 ・いじめのない学校づくりに努めている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	80.3	31.8	54.5
まあまあできている	16.9	53.0	45.5
あまりできていない	2.8	12.1	0.0
できていない	0.0	3.0	0.0

児童の肯定的な評価は97.2%であり、小さいいじめやいじめの芽があることがうかがわれる。保護者は、いじめのない学校づくりに努めている、という質問に対して肯定的な評

価は、84.8%である。否定的な評価は15.1%であり、心配している保護者が目立っている。職員は、いじめは絶対に許さないという姿勢で指導に当たっているが、「あまりできていない」と回答している児童が2.8%いる状況から、いじめが存在していると考えられる。今後も、いじめを積極的に認知し、早期発見・早期対応し、問題が深刻化する前に解決できるよう、学校全体で組織的に対応していきたい。

【質問項目】②

児 童 ・友だちからいじめられていません。

保護者 ・

職 員 ・

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている	66.2		
まあまあできている	18.3		
あまりできていない	7.0		
できていない	8.5		

いじめられていないと感じている児童は、84.5%である。一方、いじめられている、と感じている児童は、15.5%で、決して無視できない数字である。いじめは児童の人権侵害であり、重大な問題である。一層の改善に向けて、今後もアンケート調査や相談活動の充実を図り、いじめの積極的な認知と早期発見・早期対応に努めたい。

6. 「児童の理解」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・先生は、子どものことをよく理解してくれていると思う。

職 員 ・子どものことをよく理解できている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		33.3	9.1
まあまあできている		48.5	91.8
あまりできていない		13.6	9.1
できていない		4.5	0.0

保護者からの否定的な評価は、18.1%であり、児童理解に課題があることがうかがわれる。正しい児童理解があつてこそ適切な指導や支援を行うことができると考える。正しい児童理解のため、児童の心に寄り添ったかかわりを進めるとともに、保護者との連携を強化していきたい。

7. 「児童の人権尊重」について

【質問項目】

児 童 ・
保護者 ・先生は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっていると思う。
職 員 ・子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		37.9	45.5
まあまあできている		45.5	54.5
あまりできていない		13.6	0.0
できていない		3.0	0.0

職員に否定的な評価はなく、一人一人の児童を大切にする意識で指導にあたっていると考えていることがわかる。しかし、保護者は16.6%が否定的な評価をしている。職員の人権意識向上のための職員研修を計画的に実施するとともに、学校での取組について家庭へ情報発信し、家庭との信頼を深めていきたい。

8. 「けが・病気への対応」について

【質問項目】

児 童 ・
保護者 ・学校は、子どものけがや病気に対して、適切に対応してくれる。
職 員 ・子どものけがや病気に対して、適切に対応している。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		62.1	72.7
まあまあできている		31.8	27.3
あまりできていない		3.0	0.0
できていない		3.0	0.0

保護者の93.9%から肯定的な評価をいただいた。学校で児童がけがをした場合や体調不良の場合、養護教諭が様子を見て、必要ならば、早退させたり、医師の診察を受けたりすることになる。その際、まず、保護者へ連絡し、様子を伝え、迎えを頼んでいる。子どもの様子や緊急性により、救急車を要請したり、タクシーで病院へ連れて行ったりすることもあり、対応は異なる。まずは、保護者への連絡を第1としている。けがや病気に対しては、油断することなく、きめ細かな対応をこれからもしていきたい。

9. 「子どもの安全」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・学校は、子どもの安全を守るために様々な取り組みをしている。

職 員 ・子どもの安全を守るために様々な取り組みをしている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		43.9	63.6
まあまあできている		47.0	36.4
あまりできていない		3.0	0.0
できていない		6.1	0.0

児童の安全指導として、登下校における交通事故の防止や不審者対策、避難訓練などを行っているが、安心安全な学校を築くためしっかりと取り組みたい。保護者の否定的な評価は9.1%であり、安全に関する一層の取組が必要である。もう一度安全計画を見直し、更なる充実を図るとともに、保護者による登校観察や防犯パトロールへの協力を引き続き依頼していきたい。

10. 「家庭との連携」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。

職 員 ・家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		34.8	36.4
まあまあできている		57.6	54.5
あまりできていない		6.1	9.1
できていない		1.5	0.0

保護者からの肯定的な回答は92.4%（昨年度82.2%）だった。家庭や地域との連携により教育効果はさらにあがっていく。今回の結果から、保護者との意思疎通に関して改善傾向にあることがうかがわれる。保護者とのさらなる連携を図っていきたい。

11. 「適切な相談」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・学校は、保護者に対して、適切に相談に応じてくれる。

職 員 ・保護者に対して、適切に相談に応じている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		43.9	36.4
まあまあできている		50.0	54.5
あまりできていない		3.0	9.1
できていない		3.0	0.0

保護者の6.0%（昨年度16.4%）が否定的な評価をしており、状況の改善がうかがわれる。問題が大きくなる前の、小さなことでも相談できる教師であり学校でありたいと思う。これからも相談しやすい環境づくりに努めていきたい。

12. 「情報の公開」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・学校は、各種たよりやホームページ等で情報の公開に取り組んでいる。

職 員 ・各種たよりやホームページ等で情報の公開に取り組んでいる。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		39.8	18.2
まあまあできている		43.9	72.7
あまりできていない		19.7	9.1
できていない		3.0	0.0

肯定的評価が保護者は83.7%、職員は90.9%あった。情報発信の方法として学校だより・学年だより・その他各種のたよりがある。また、ホームページでも公開している。学校での子どもたちの活動の様子、行事の予定などをしっかりと伝え、学校の活動について更に理解をしていただけるようにしたい。

13. 「施設・設備」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・ 学校の施設・設備など学習環境は整っている。

職 員 ・ 学校の施設・設備など学習環境は整っている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		48.5	45.5
まあまあできている		47.0	54.5
あまりできていない		4.5	0.0
できていない		0.0	0.0

保護者の施設・設備の面で肯定的な評価は、95.5%である。児童による清掃活動は、手順良くきれいに掃除ができるように職員が指導に当たっている。また、施設・設備利用の際には、感謝の気持ちを持ち、丁寧に扱うことができるよう継続的な指導を行っている。グラウンド他の草刈り、窓掃除等については、PTA 奉仕作業や山武西まちづくり協議会の協力によりきれいな状態を保つことができています。今後ともご協力をお願いしたい。

14. 「PTA活動」について

【質問項目】

児 童 ・

保護者 ・ PTA活動は適切に行われている。

職 員 ・ PTA活動は適切に行われている。

(%)	児 童	保護者	職 員
十分できている		37.9	30.8
まあまあできている		51.5	69.2
あまりできていない		9.1	0.0
できていない		1.5	0.0

肯定的な評価は、保護者89.4%だった。家庭数の減少により委員会の活動を休止にしたり、活動内容を変更したりして、会員の負担が軽減されるように対応してきたが、一方で西小らしさや盛り上がりを望む声もあった。役員の負担を軽減し、誰でもできるPTA活動にし、一部の保護者に過度の負担がかかる状況は改善したい。学校の規模に見合った改善を進めていくが、改善点については、アンケートを実施するなど広く意見を求め、PTA役員会で図りながら慎重にすすめていきたい。

15. その他 児童アンケートから

【質問項目】①

児 童 ・掃除を一生懸命にしています。

(%)	児 童
十分できている	69.0
まあまあできている	26.8
あまりできていない	4.2
できていない	0.0

肯定的な評価は95.8%である。掃除の時間は、それぞれの分担場所をしっかりと掃除している。児童数に比べ清掃範囲が広く、行き届かない部分もあるが、工夫しながらよく掃除をしている。家庭でも様々なお手伝いができるようにしていきたい。

【質問項目】②

児 童 ・宿題をきちんとしています。

(%)	児 童
十分できている	76.1
まあまあできている	14.1
あまりできていない	8.5
できていない	1.4

学校で学習した内容について家庭で復習することにより、学習内容の定着が図られる。特に、宿題については必ず行うような習慣を身につけるべきである。肯定的な評価は、90.2%である。2月は家庭学習強化月間でもある。家庭学習の習慣化を図り、学習内容の定着につなげたい。

【質問項目】③

児 童 ・読書を進んでしています。

(%)	児 童
十分できている	36.6
まあまあできている	45.1
あまりできていない	11.3
できていない	7.0

肯定的な評価は、81.7%だった。国語力や読解力を養うためにも読書は大切である。学校では、読書タイムだけでなく、読書の時間を確保している。また、本をすぐに手にとれるように教室に図書コーナーを作っている。保護者による絵本の読み聞かせ活動も充実し、さらに本に親しむ機会が増えた。今後も継続していきたい。

【質問項目】④

児 童 ・先生は、ぼく（私）の話をよく聞いてくれます。

(%)	児 童
十分できている	76.1
まあまあできている	22.5
あまりできていない	0.0
できていない	1.4

学校生活を充実させるためには、児童と担任との信頼関係が大切である。97.8%の児童が肯定的な回答をしていた。今後も一人一人を大切にし、児童の心に寄り添い、児童の話をじっくりと聞き、共に考え、誠実な対応をしていきたい。

【質問項目】⑤

児 童 ・先生は、分かりやすく授業をしてくれます。

(%)	児 童
十分できている	80.3
まあまあできている	18.3
あまりできていない	1.4
できていない	0.0

98.6%の児童が「授業がわかりやすい」と回答した。どの子も「わかる・できる」と感じる授業であり続けるために、今後も児童理解と職員研修の充実を図っていききたい。

【質問項目】⑥

児 童 ・おうちでは、早寝、早起きなど規則正しい生活をしています。

(%)	児 童	
十分できている	33.8	肯定的な評価は、73.2%である。高学年になると就寝時刻が遅くなりがちである。ゲームをしたりインターネットを見ていたりする児童も多い。睡眠時間を十分にとって、朝食をきちんと食べるなど規則正しい生活が、集中力を増して頑張る力のもとになると考える。
まあまあできている	39.4	
あまりできていない	21.1	
できていない	5.6	

【質問項目】⑦

児 童 ・決まりやマナーを守って生活しています。

(%)	児 童	
十分できている	50.7	肯定的な評価は、84.5%であり、ほとんどの児童は、決まりやマナーを守って生活をしている。社会生活を営む上で、決まりを守ることは大変重要である。今後も、発達段階に合わせて、わかりやすくルールを示し、守れたらほめることを繰り返すことにより、ルールの定着を図りたい。
まあまあできている	33.8	
あまりできていない	11.3	
できていない	4.2	

